
ノックアウト

午雲

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】
ノックアウト

【Nコード】
N7484V

【作者名】
午雲

【あらすじ】
今まで散々、他人をノックアウトしてきたオレが、まさか、こんな目に遭うなんて、！。

真昼間。

道路わきにクルマを停め、

ドアを開けて、運転席から降りようとした瞬間に、

「ガコッ」

後頭部を殴られた。

激しい痛み。

あっと思った時には、もう意識を失って居た。

「素手なら誰にも負けない！」

それがオレの唯一のプライドだった。

なぜなら、オレは、ボクシング経験者・・・

そう、自称・ボクサーだからだ。

数々の意気がった野郎共を、

残らずノックアウトして来た。

知る人ぞ知る。

そんなオレが、まさか、

「ノックアウト強盗。」

に遭うなんて、ー

このままでは、恥ずかしくて、

明日から、街を歩けない。

気がつくと、すぐにオレは、そう思い立って、

病院を抜け出し、警察署へ駆け込んだ。

「おいっ!」

「はい。」

「犯人に会わせろ!」

「何の犯人ですか?」

なんでオレの口から説明しなければならないのか、よくわからないが、

ようやく話しが通じて、署員が言った。

「ああ、あのノックアウト強盗ですか？」

「そうだ！」

（さっきから言ってるじゃないか？）

お茶くらい出せ、と思ってしまっ。

「先ほど身柄を確保しまして、いま取り調べを進めております。」

「いや、いい。」

待つてましたとばかりに、オレが告げる。

「は？」

「被害届けは出さんっ！」

「あなた、被害者でしょう？」

「もう治った。」

オレは低い声で告げた。

「しかし金品を強奪されて居るわけですから・・・」

署員に皆まで言わせず、オレは指をつきつけ、言い放った。

「釈放しろ！」

そして、息をつかせず、言い募る。

「今すぐ、ここへ連れて来い！今すぐにだっ」

「・・・」

署員は、じっとオレの様子を見守り、

そして、いう。

「ーできません。」

（プチッ）

オレは、たちまち怒鳴り散らした。

「なぜだっ中に居るんだろっ？ここに呼んで来いっ」

おもわず、パンチを繰り出してしまふ。

「おっと！」

署員もツワモノ、素軽い身のこなしで、きれいに避けてみせる。

「ここを何処だと思ってるんだ？」

「おん？」

「公務執行妨害で逮捕する！」

「ちょ、ちよつと待て！オレは被害者だぞ？」

「現行犯に逮捕状など要らんだ。」

（観念しろ！）

素手なら負けない。

オレは元ボクサーだ。

でも、相手が悪かった。

（おしまい）

（後書き）

・・漫才でした（失礼）。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7484v/>

ログインアウト

2011年10月5日14時59分発行